

議 事 録

会議名	令和4年度 第2回三鷹市地域包括支援センター運営協議会
日 時	令和5年2月17日（金）午後7時00分～8時30分
会 場	大研修室
出席委員	<p>【委員】 高橋 壮芳、光安 廣修、林 栄守、原 栄義、高橋 久実子、上田 典之、森田 武志、吉野 勇、林田 昭子、城澤 恵、吉田 洋之、小砂 恭甫、倉島 千尋、影山 悦子（順不同・敬称略）</p> <p style="text-align: right;">＜定足数 15 人中 14 人出席：有効＞</p> <p>【地域包括支援センター出席者】 加藤 明子 （三鷹市井の頭地域包括支援センター 主任介護支援専門員・社会福祉士）</p>
事務局	健康福祉部部长、健康福祉部調整担当部長、健康福祉部保健医療担当部長 健康福祉部介護保険課長、健康福祉部高齢者支援課長 高齢者支援課高齢者支援係長、高齢者支援課高齢者相談係長 高齢者支援課旧どんぐり山施設利活用担当主査、他事務局4人
会議の公開・非公開	公開
傍聴人数	0人
<p>○ 健康福祉部長挨拶</p> <p>1 令和4年度 地域包括支援センター業務運営指針の実績・評価及び令和5年度 地域包括支援センター業務運営指針(案)について（協議事項）</p> <p>(1) 高齢者支援課事務局より、令和4年度地域包括支援センター業務運営指針の実績・評価の報告とともに令和5年度地域包括支援センター業務運営指針（案）の概要説明を行った。</p> <p>資料3～6をもとに、令和4年度地域包括支援センター業務運営指針の実績・評価及び令和5年度地域包括支援センター業務運営指針（案）について、重点的取組や今後より取組が重要となる業務を中心に説明を行った。委員の多数の挙手により承認された。</p> <p>令和4年度は「複合化する課題の早期把握に向けた取組」を重点目標とし「見守り、孤立防止に向けた取組」、「関係機関との新たな連携体制の構築に向けた取組」、「地域課題解決に向けた取組」の3つを業務の柱として実施した。</p> <p>令和4年度の実績を踏まえ、令和5年度の運営指針の方向性を「自助・互助につながる啓発、活動の場の創成等の取組」と定め、「高齢者の主体性を醸成する取組」、「複合化する課題の解決に向けた取組」、「活動の場の創成に向けた取組」の3つを柱として策定した。</p> <p>(2) 三鷹市井の頭地域包括支援センター（以下「包括」と言う。）加藤氏より令和4年度地域包括支援センターの活動実績等の報告を行った。</p> <p>ア コロナ禍で心理的不安から外出を控える高齢者も多く、孤立防止が重要である。</p> <p>イ 同様にコロナ禍で通いの場等に通えなくなったことから、機能低下や、介護予防・生活支援サービス事業の相談が非常に増えている。</p> <p>ウ 三鷹市ではケアマネジャーが不足しており、委託も含め引き受けてくださる事業者が少なく、包括の業務量が増えているという実情がある。</p> <p>エ 8050 問題など、複合的な課題を抱える世帯が増えている。他機関との連携が非常</p>	

に重要になっており、重層的支援体制をこれからも構築していきたい。
 オ 認知症サポーター養成講座を積極的に行った。企業や中学校など、多年代、多くの層に啓発でき、これによって一層輪が広がった。

<質疑応答>

委員	センターと薬剤師の連絡会が実績報告にあるが、個人情報はどう対応したのか。民生委員をやっている、個人情報の壁を感じる。
事務局	この連絡会では、具体的な個人の情報は扱っていない。高齢者の最近の傾向や、お互いの業務の共有、連携方法などの情報を交換した。今後、個人の情報を扱う際は検討が必要であると考えている。 心配な高齢者の情報は民生委員からぜひお伝えいただきたい。包括や、必要であれば警察消防などに連携をとりながら、その方を見守り、支援体制を構築できる。当然包括には守秘義務があるのでご安心いただきたい。
委員	社会福祉協議会のボランティアのコーディネートでは、「このことを民生委員さんへ伝えていいか、どこまで伝えていいか」と本人の同意を取って行っている。
包括	包括で行う地域包括ケア会議では、当事者の同意を得た上で情報を取り扱い、参加するメンバーが皆、個人情報を守るということで誓約書を会議の冒頭で書いていただいている。
委員	私は薬剤師としてそのような会議に参加した際、誓約書を書いたことがある。
会長	チームオレンジについて詳細を伺いたい。
高齢者支援課長	チームオレンジとは、国から具体的に内容を指定されているわけではないが、「若年性を含めた認知症の方が孤立しないよう、認知症サポーターなどと共に、地域で活躍する活動を行っていく」という事業である。 三鷹市では、今回はコミュニティガーデンということで、介護施設の庭を借りて、畑づくりをすることにした。それだけではなく、ほかのものも行っていきたいとは考えている。
委員	このガーデンをチームオレンジとして行うに当たって、何人ぐらいの人が関わっているのか。スタートしたばかりということだが、今現在の状況を知りたい。
事務局	1回目の説明会は支援者を含めて 10 数名、市民の方は約 8 名。その後数回は 6～7 名。先日、認知症ネットワーク会議でこの取組について報告を行ったところ、その会議の委員が運営する通所施設の利用者が参加してくださり、最近では毎回 10 名程度が参加している。来られる日に自由に参加していただいている。 施設の方と調整しながら、今のところは第 2 と第 4 の水曜日に行っている。条件はないので、興味があればぜひご参加いただきたい。 また、今後もこういった形で、様々な市内の企業や施設の方と協力しながら取組が広がっていければと考えている。

(2) 介護予防ケアマネジメント委託事業所の承認について（承認事項）

委員の多数の挙手により 3 件が新規に承認された。

(3) その他報告事項

次回、令和 5 年度第 1 回地域包括支援センター運営協議会は、令和 5 年 7 月頃を予定している。